

## News Release

2014年10月23日  
一般社団法人 日本電機工業会 (JEMA)

### 重電機器受注生産品の受注実績 2014年度「第Ⅱ四半期(7-9月)」及び「上期」

JEMA では、わが国の重電産業に関する基礎資料のうち、重電機器の受注動向及び需要者(業種)別の市場動向等を通して重電産業の動向を把握して頂くために、JEMA 会員独自で実施している重電機器の自主統計を一般に公表しております。ここに、重電機器受注生産品の2014年度「第Ⅱ四半期」及び「上期」の受注実績を公表致します。

#### 2014年度 第Ⅱ四半期(7-9月)の概要

##### 【概況】

第Ⅱ四半期の受注額は、4,894億円(前年度同期比 112.1%)と内外需ともに増加し、4四半期連続の前年同期比超えとなった。(＊以下、前年度同期比は「同」と略記)

##### 【需要者別動向】

###### ■内需

内需は3,457億円(同 116.4%)となり、製造業及び官公需は前年並みであったが、非製造業が好調を維持しており、全体を押し上げた。

- 非製造業は1,997億円(同 126.2%)となり、大口需要先である電力業の増加が全体を押し上げた。国内電力会社向けの受注は、震災復興関連で2012年度は増加し、その後減少していたが、ここ3四半期連続で前年同期比超えとなった。
- 製造業は687億円(同 99.0%)と前年並みとなった。主要需要先でみると鉄鋼業と電気・情報通信が増加したものの、はん用・生産用・業務用機械と自動車が増加となった。

###### ■外需

外需は1,438億円(同 103.0%)と、4四半期連続の前年同期比超えと堅調に推移している。

##### 【製品別動向】

発電機、制御装置が減少したものの、交流電動機、電力変換装置、変圧器、遮断器、配電装置など、堅調に推移している。

#### 2014年度 上期の概要

2014年度上期の受注額は、8,911億円(同 121.7%)となった。

- ・内需は6,006億円(同 113.7%)となり、非製造業の大口需要先である電力業の増加が全体を押し上げた。なお、製造業は前年並み、官公需は減少となった。
- ・外需は2,905億円(同 142.4%)と、第Ⅰ四半期に大口案件の受注が入ったこともあり、大幅に前年同期比を上回った。

##### ■対象(重電機器受注生産品)

ユーザより注文を受け、個別の仕様で製造する製品群である受注生産品を調査対象としております。

- ・需要者(業種)は主に電力業や鉄鋼業、はん用・生産用・業務用機械、電気・情報通信機械、自動車などの主要製造業及び官公需等であります。
- ・重電機器の主要製品は、回転機(発電機、交流電動機)、静止・開閉器(電力変換装置、変圧器、遮断器、配電装置、制御装置)等であります。

##### ■公表の内容

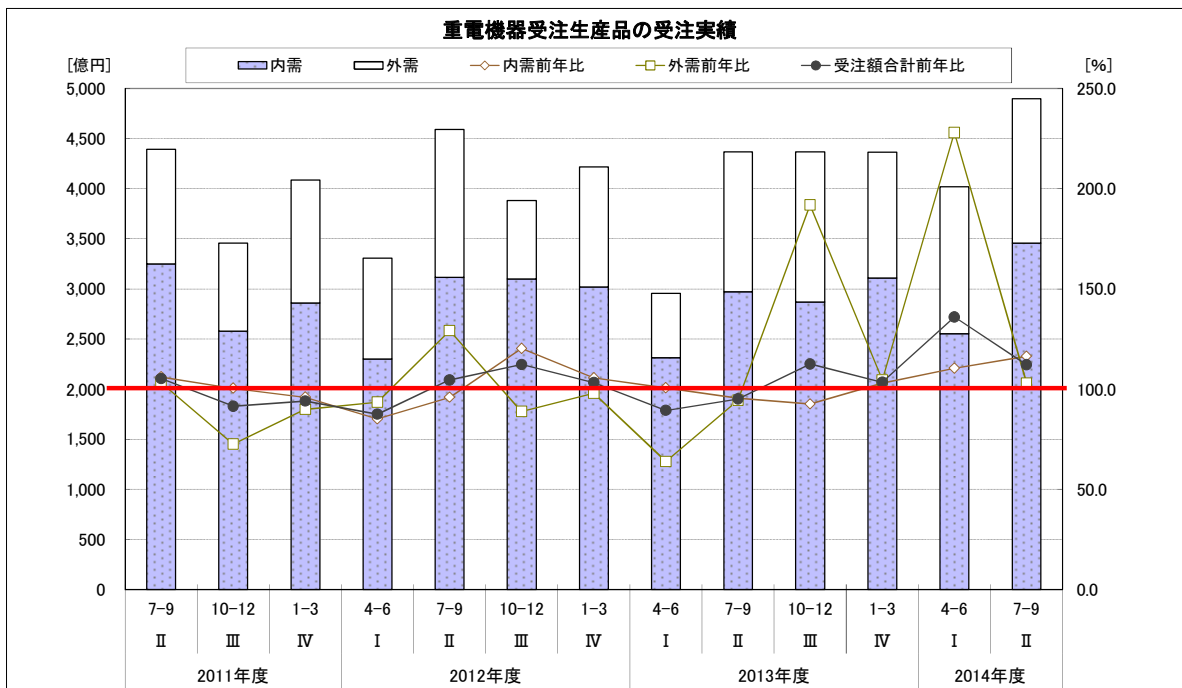
重電機器受注生産品全体の受注実績額、内需の需要者(業種)別、外需などを把握することで、国内外の受注動向および市場動向を把握することができます  
また、重電機器受注生産品の受注実績は、需要者(業種)別の設備投資の状況等を把握できますので、景気動向の先行指標として活用ができます

##### ■公表の形態

- ・JEMA 会員独自で実施している自主統計を四半期毎に公表致します。

## ■ 四半期実績の推移

【受注実績: 内需+外需】



## 【内需内訳】

